



独立行政法人
国立病院機構

まつもと医療センター

包括医療支援センターだより

NO.

49

(令和8年5月号)

1 第12回心不全地域連携会の開催について

当院では、地域で暮らす慢性心不全の方々に携わっている医療福祉・介護に関わる皆様への情報提供とコミュニケーションの場として、「心不全地域連携会」を開催しております。令和4年9月より開催を始め、現在多くの在宅医療に係る医療従事者の方々にご参加頂いております。

この度、第12回目の開催日時が決定しましたので、お知らせ致します。

ご出席を御希望の場合は、別紙にてお申し込み下さい。恐れ入りますが、5月22日（金）12:00までにFAXまたはメールにてご回答賜りますようお願い申し上げます。なお、今回はグループワークを実施する予定です。そのため、参加をご希望の場合は、別紙出席希望者調書に、出席予定の方全員の氏名と役職をご記載いただき、ご提出頂けますようお願いいたします。

講演：「重層的支援体制整備事業について」

：「つながり続ける伴走型支援とは？」

～命・暮らし・生きがいを支える視点から～

症例：「退院後の支援が途切れ、病状悪化を繰り返す高齢心不全患者の一例～つながり続ける伴走型支援をふまえて～」

事例発表・グループワーク

日時： 令和8年5月25日（月） 18:00～19:20

FAX送信先： 0263-86-2816

メール： shimada.yuichi.je@mail.hosp.go.jp



患者様のご紹介及び共同利用(CT,MRI,RI,骨密度,内視鏡)のご予約

平日8:30～17:15は包括医療支援センターまでお電話(直通:0263-86-2812)をお願いいたします。

土日祝日及び夜間の患者様のご紹介は、代表番号（0263-58-4567）へお願いします。

※検査依頼書等は当院ホームページよりダウンロード、印刷していただけますので、ぜひご活用ください。

独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター

包括医療支援センター

〒399-8701 松本市村井町南2-20-30

TEL0263-86-2812(直通) FAX0263-86-2816(直通)

TEL0263-58-4567(代表) FAX0263-86-3183(代表)



ご意見・ご感想等ございましたら包括医療支援センターまでご連絡くださいますようお願い申し上げます。

2

入退院支援看護師の活動紹介

～患者さんと地域をつなぐ看護の力～



当院では、患者さんが安心して入院生活を送り、退院後もその人らしい生活を継続できるように、**入退院支援看護師**が中心となって支援を行っています。

入退院支援看護師は、入院早期から患者さんやご家族と関わり、治療だけでなく「退院後の生活」を見据えた支援を行う専門職です。病棟看護師、医師、医療ソーシャルワーカー、リハビリスタッフ、地域の医療・介護関係者と連携し、切れ目のない支援を目指しています。

主な活動内容

- **入院時からの情報収集と課題の整理**

病気や治療だけでなく、生活背景や家族状況、退院後の不安について丁寧に伺います。

- **退院支援・退院調整**

患者さんの状態に合わせて、在宅療養や施設利用、転院などを検討し、関係機関との調整を行います。

- **患者・家族への説明と相談対応**

「退院後の生活がイメージできない」「介護が不安」といった声に寄り添い、わかりやすく説明しながら一緒に考えます。

- **地域との連携**

訪問看護、ケアマネジャー、かかりつけ医などと情報を共有し、退院後も安心して生活できる体制づくりを支援します。

私たちが大切にしていること

入退院支援看護師は、患者さんの「これからの暮らし」に寄り添う存在です。

医療が終わっても生活は続いていきます。だからこそ、患者さん一人ひとりの思いを大切にし、「その人らしい退院」を支えることを心がけています。

今後も、院内外が多職種と連携しながら、患者さんにご家族が安心して次の一步を踏み出せるよう支援を続けてまいります。

